

①個別データシート

種類 加工

英名 wool yarns processing and dyeing processing

整理番号: JP207013

分類 繊維工業品

和名 羊毛の紡績・染色加工プロセス

・GHG排出量 7.44E+00 kg-CO₂e/kg

・情報源分類 その他調査データ

・技術記述子 羊毛の紡績・染色加工

・技術の内容と機能 羊毛の紡績加工および染色加工
前提: 要尺2.8m、0.803kgの羊毛(100%)の紡績糸製造を前提とし、洗上毛の梳毛工程、羊毛トップの紡績工程、生地糸の糸染工程を対象としている。生産工程の使用エネルギーと大気系負荷は16社の平均。
* 生地糸の糸染工程における染料の投入は含まれていない。
* 入力の水量の5%が飛散するとして、排水処理は入力水量の95%としている。

繊維製品(衣料品)のLCA調査報告書 経済産業省製造産業局 繊維課(有限会社産業情報研究センター), (2003), 資料編 p24 資料16 ①羊毛の紡績・染色

・データ作成者コメント

経済産業省製造産業局 繊維課(有限会社産業情報研究センター):“繊維製品(衣料品)のLCA調査報告書 資料編”,12,(2003), p24, ①羊毛の紡績・染色 に掲載されている入出力データを引用して、原材料の入力を除外して紡績・染色加工プロセスの原単位を作成した。

・適用範囲

羊毛の紡績加工および染色加工を対象としており、要尺2.8m、0.803kgの羊毛(100%)の紡績糸製造を前提とし、洗上毛の梳毛工程、羊毛トップの紡績工程、生地糸の糸染工程である。

・システム境界

製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含む。産廃処理を含まない。加工プロセスのため、加工される原材料ならびに加工された製品は含まない。

・配分

共製品なく配分なし

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、熱エネルギー、C重油(C重油)由来のCO₂(化石資源由来)、電力、系統電力(公共電力)由来のCO₂(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考	
ユーティリティ	中間フロー	入力	蒸気用水	純水,イオン交換膜法	JP310355	1.65E-02	m3	
ユーティリティ	中間フロー	入力	公共電力	電力,公共	JP120001	7.04E+00	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	水	工業用水道	JP323002	9.06E-02	m3	
ユーティリティ	中間フロー	入力	C重油	燃焼・C重油	JP111022	1.16E+00	L	
ユーティリティ	中間フロー	入力	都市ガス	燃焼・都市ガス13A	JP121002	1.90E-02	Nm3	
廃棄物処理	中間フロー	入力	工業排水処理	工業排水処理		8.61E-02	m3	
水圏排出物	基本フロー	出力	SS			3.53E-03	kg	
水圏排出物	基本フロー	出力	BOD			3.21E-03	kg	
水圏排出物	基本フロー	出力	COD			1.93E-03	kg	
製品	中間フロー	出力	羊毛の紡績・染色加工プロセス	羊毛の紡績・染色加工プロセス	JP207013	1.00E+00	kg	